

すべての子供たちが
輝くために...

吉川の教育、今、変革期。 「変わらなきゃ!! 変えなきゃ授業」

今、世界は **VUCA** (不安定・不確実かつ複雑で
曖昧な世界で予測困難) な時代

Volatility
(変動性)

Uncertainty
(不確実性)

そんな時代に必要な力とは...

Complexity
(複雑性)

Ambiguity
(曖昧性)

Agency

当事者意識

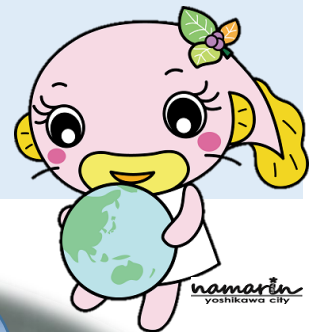
O E C D (経済協力開発機構) が掲げた「エディケーション2030」

2030 年から先の社会を生きる子供たちに育むべき
自分も周囲も幸せ (Well-being) な未来を創造するために必要な3つの力

対立やジレンマを克服する力

新しい価値を創造する力

責任ある行動をとる力



今、全国の教育現場の現状は？

小学校35人学級を覗いてみると...

発達障害等

2.7人
(7.7%)

発達障害の可能性のある子供

Gifted

0.8人
(2.3%)

特異な才能のある子供

家にある本が
少ない子供

10.4人
(29.8%)

家にある本が少なく
学力が低い傾向
がみられる子供

不登校

0.4人
(1.0%)

不登校・
不登校傾向の
子供

不登校
傾向
4.1人
(11.8%)

家で日本語をあまり
話さない子供

1.0人
(2.9%)

日本語を話す
頻度の割合

内閣府 総合科学研究・イノベーション会議
「Society5.0の実現に向けた教育
・人材育成に関する政策パッケージ」より

さらに...

吉川の子供たちの実態は？

吉川市の子供たちに足りない力

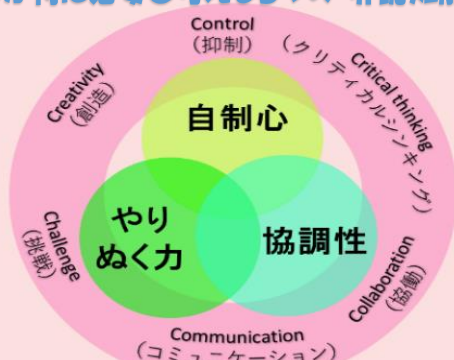
「説明力」と「批判的思考力」

(R4全国学力学習状況調査における子供の弱点)

当事者意識は
ある？

ホントに「今困っていない」？
ホントに「必要性ない」？

吉川市が特に必要と考える3つの「非認知能力」は？



そして...

今現場に必要なのは...

中央教育審議会 2021 から

「子供の学び」の姿

個別最適な学び

協働的な学び

一体的に充実
主体的・対話的で深い学び
の実現

意識改革
授業改善
授業外の学習改善

子供の資質・能力の育成

指導の個別化

学習の個性化

子供一人一人の特性、学
習進度・到達度に応じた
指導方法、教材等の工夫

子供一人一人の興味・関
心・キャリア形成に応じた
学習活動、課題の提供

異なる考えの相乗効果からより良い学びの創造

「こんな世界・時代だから」・・・

従来行ってきた「一斉型」の授業だけでは限界・・・

そこで令和5年度吉川市は・・・



PBLとは・・・

児童生徒が自ら問題を見つけ、
課題化しその課題を解決するまでの過程で
様々な知識を得ていくという学習方法

PBLにより・・・

- ・思考力が鍛えられる
- ・知識の獲得・定着が図れる
- ・応用力が高まる
- ・表現力が豊かになる
- ・情報活用能力が身に付く
- ・自己指導能力を高める

「探究型学習(PBL:Project Based Learning)」 に取り組みます



不思議

自ら
「問い」を立てる
「問い」を創る

なぜ

なまりん

気づき・問題発見

課題化・課題解決

問い

問題

Agency
当事者意識

課題

「あれ？気になる」
「不思議だ」
「なぜだろう」

調べ学習

「こうなったらいいな」
目標と現状との
ギャップ・差異

ギャップを埋めるために
すべきこと、
具体的なアクション

課題解決的
探究的学び
PBL

探究学習＝総合的な学習の時間＋全ての授業

全ての授業を
PBLの視点で！！

探究型学習・事例

よしかわ探究型学習コンセプト

私がつなげる吉川市の偉人プロジェクト

富山栄市郎（タカラトミー創業者）

～自分の夢を追い続け、
好きな「おもちゃに」一生をかける～

誰にでも得意なこともあれば
不得意なこともある。
やってみただけでできない時もある。
でも「好きなこと」は
いつだってずっと
「好きなこと」でよいのです。
「好き」を新たな価値へ



SNSトラブルから子供を守るのは「保護者」？「学校」？

デジタル社会に生きる力を自分で

引き続き進めていきます

「デジタルシティズンシップ教育」

インクルーシブ

多様な視点、他者の尊重・共感

情報力

多様なメディア情報の評価

活動参加

テクノロジーを用いた問題解決、貢献

デジタル社会・予測困難な社会に必要な能力

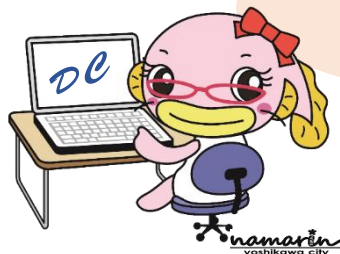
バランス

自分のデジタル使用時間や活動の優先順位の確立

アラート

自分や他者の安全確保

「してはいけないこと」の集積ではなくデジタルテクノロジーを使って
学習、創造し、責任をもって市民社会へ参加する能力



系統化された9年間の学習の連続を目指して・・・

さらに推進します

「小中一貫教育」

学力の
向上

目的①

自己肯定感の
高揚

目的②

非認知能力の
向上

目的③

研究推進体制

中学校区ごとに毎年度全校に研究委嘱

小中一貫のステージ

充実発展

習熟・つなぎめ

基礎基本

第3ステージ
中2 中3

第2ステージ
小5 小6 中1

第1ステージ
小1 小2 小3 小4

小1プロブレム

中1ギャップ

9才のかべ

卒業

入学

小中連携して

☆基礎的・基本的な知・技の習得

☆PBL等をベースに主体的・対話的で深い学びを
実践しこれからの時代に必要な資質・能力を育成

中学校区ごとに3つの目的に
ついての実態把握

実態を共通理解し問題点をフォーカス

課題を共有・共通理解

PDCAサイクルで実践

誰一人取り残さないための支援

教育支援センターでの取り組み

- 個に応じた学習プログラムの実践
- 一人一人の可能性を引き出すための教育活動
- 地域人材を活用してのソーシャルスキルアップ
- 家庭と学校の連携
- 巡回支援訪問
- アウトリーチ
(outreach = 手の差し伸ばし)

各学校での取り組み



「心あたたまるはがきコンクール」の審査

- 学習指導と生徒指導の関連付け
- 常態的・先行的生徒指導の充実
- 個別最適な学びと協働的な学びの充実
- 効果的なICTの活用
- HyperQUテストの活用
- 認知行動プログラム「勇者の旅」

児童生徒支援センター作品通展



学びを支える教員への支援

研修

- 年次別研修
- PBL研修
- デジタルシティズンシップ研修
- ICT活用能力向上研修
- 指導主事による校内研修の支援

環境整備

- ICT支援員の配置
- 資料のデータベース化
- 働き方改革の推進



ICT機器を工夫して活用した授業の様子

R5 具体的な取り組み

○教職員には・・・

- デジタルシティズンシップ研修（特任教育支援員）
- P B L 研修（特任教育支援員）
- I C T 活用能力向上研修(希望制：特任教育支援員)

○児童生徒には・・・

- P B L 講座
- デジタルシティズンシップ講座（担任教員）

○保護者には・・・

- デジタルシティズンシップ講座
（特任教育支援員又は市教委作成オリジナル教材）



説明力、批判的思考力育成のために・・・

- プレゼン力養成講座
- プレゼンテーション大会

➡ **講座・大会の成果を学校の学びに活用**



令和4年度 プレゼンテーション大会の様子

P B L をベースに



9年間を見通した系統的な学習のために

「小中一貫教育の目指すゴール」を
中学校区ごとに作成

- ◆目指すゴールに向けた取組
- 小中一貫教育のカリキュラムの作成・実践・振り返り
- 小中合同研修会等の実施
- 中学校区内の学校運営協議会の連携・強化

すべての子供たちがかがやくために

吉川市教育委員会教育長 戸 張 利 恵

子供たちが予測困難な時代をよりよく生きていくためには、自分も人も大切にし、自分で考え、協働しながら困難を乗り越えチャレンジする意欲と失敗しても立ち上がる、しなやかな復元力をもち生涯にわたって学び続ける人を育てることが重要です。

吉川市教育委員会は、各校の特色を生かしつつ、子供たち一人一人を大切にし、誰もが認められ自己肯定感がもてる教育活動を展開して自分も仲間も伸びる、安心、安全で笑顔あふれる学校づくりを目指した教育方針のもと様々な教育環境を整えてきました。

これまでの当たり前が当たり前でなくなった今だからこそ、子供たちの未来のために学びを変え、真の生きる力をつけていかなければなりません。

令和5年度は、「全ての子供たちがかがやくために」4つの中学校区で小中一貫教育を推進し学力向上、自己肯定感の高揚、非認知能力の向上を目指します。また子供たちが主体的、協働的に学ぶことが出来るよう自ら問いを立て課題解決する力をつけていきます。さらにデジタル社会を生きていくための素地となる力を育て「自分ごと」として物事を考え行動できる人づくりをしていきます。

そのためには、『基本的な生活習慣』『人を思いやる心』『善悪の判断』など生きる力の基礎的な資質や能力を育成する基盤となる家庭教育が全ての出発点となります。また、保護者の皆様や地域の様々な方々が学校を支え、共に育てるという意識をもって子供たちを見守り連携、協力することが不可欠です。

未来そのものである子供たちのためにご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。